

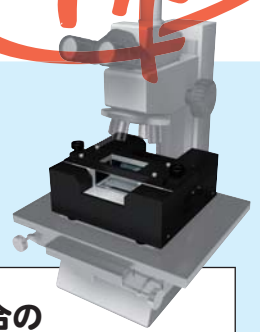
# core9070a を使った加熱コプラ測定

測定顕微鏡と core9070a を組み合わせて、加熱（リフロー）中のコプラを測定

Tip!

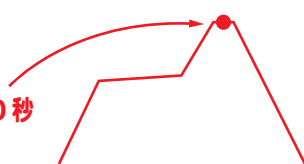
## ★加熱中のコプラ測定のポイント

リフローシミュレータを用いて加熱中のコプラを測定する場合、測定所要時間に合わせ、プロファイル温度の保持をおこないます。



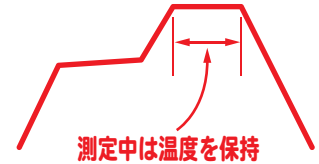
### 実際のリフロー工程で使用される温度プロファイル

ピーク温度保持時間：10秒



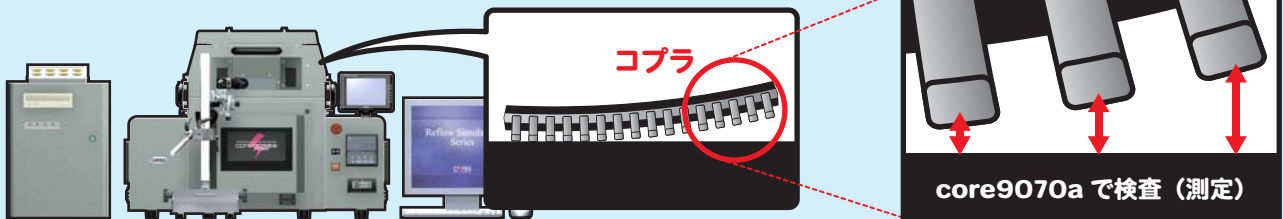
### core9070a で測定する場合の温度プロファイル

例：  
測定ピン数：10  
測定所要時間：約 30 秒  
ピーク温度保持時間：40 秒



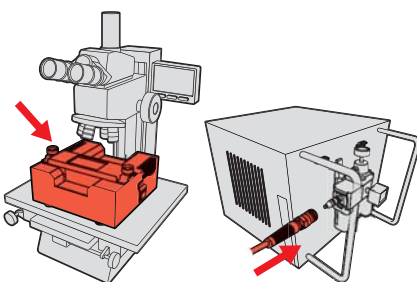
または、

コアーズのリフローシミュレータをお持ちであれば、コプラが気になる部分を絞り込んだ上で部分的に短時間で検査（測定）する方法もあります。協力工場や海外工場へ core9070a を配備し加熱コプラ測定をおこなうことで、品質管理体制を強化できます。

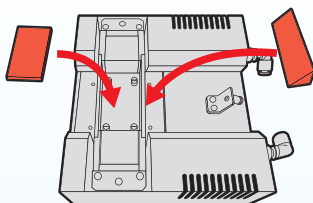


## 設置からコプラ測定までカンタン③STEP!!

### STEP① 設置

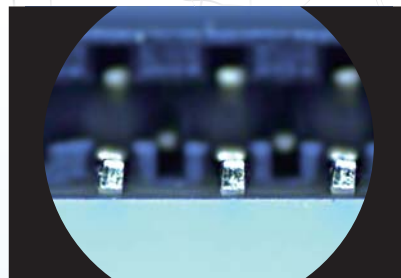
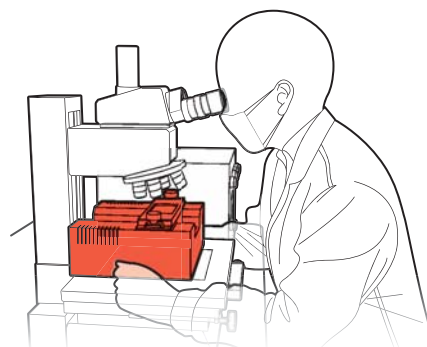


測定顕微鏡のステージに core9070a の加熱ユニットをセット。制御ユニットへ電源とエアを接続するだけで設置は終了。



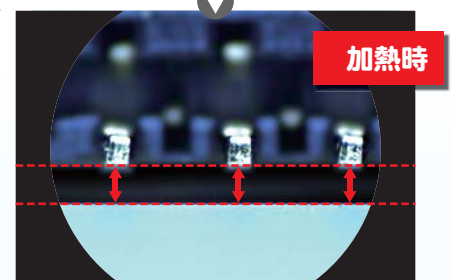
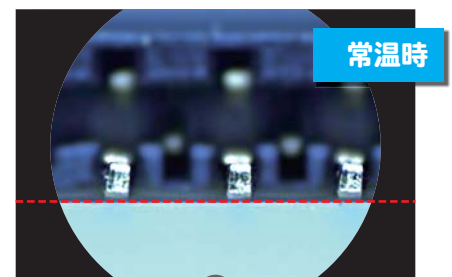
専用ガラスステージとプリズムミラーをセットします。

### STEP② 測定位置の調整



測定する箇所へ顕微鏡を合わせます。

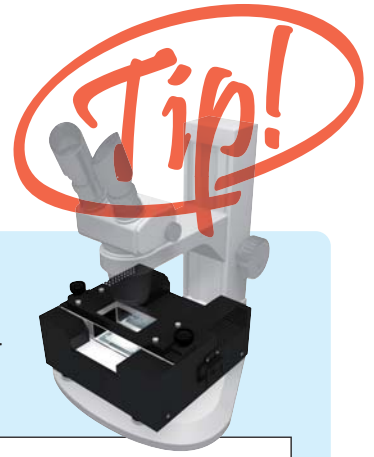
### STEP③ コプラ測定



任意の測定ポイントでコプラを測定。測定方法は従来の一緒なので、特別な教育は必要ありません。

# core9070a を使ったリフロー観察

実体顕微鏡やデジタルマイクロスコープと core9070a を組み合わせて加熱（リフロー）中の部品の様子を観察

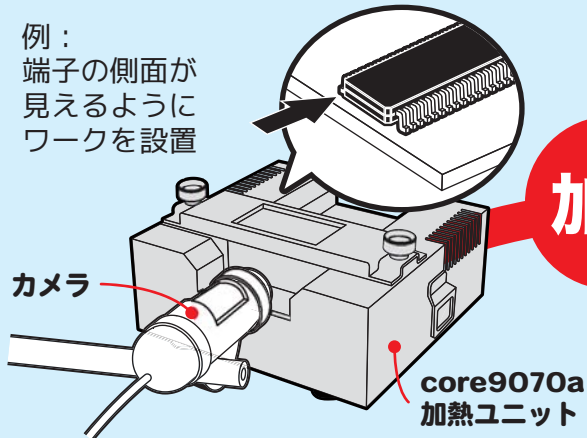


## ★加熱中のワークを観察する時のポイント

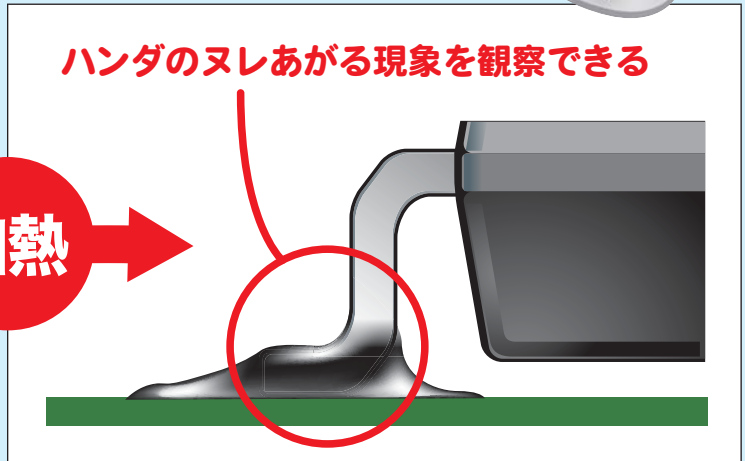
core9070a を用いて加熱中のワークを観察する場合、観察したい現象によってカメラの位置と角度を変更します。

### ハンダのヌレ性を観察する場合

例：  
端子の側面が見えるようにワークを設置

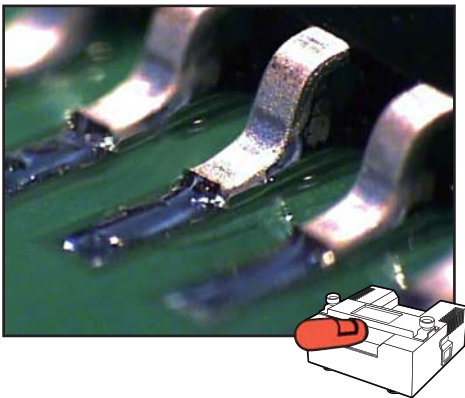


ハンダのヌレあがる現象を観察できる

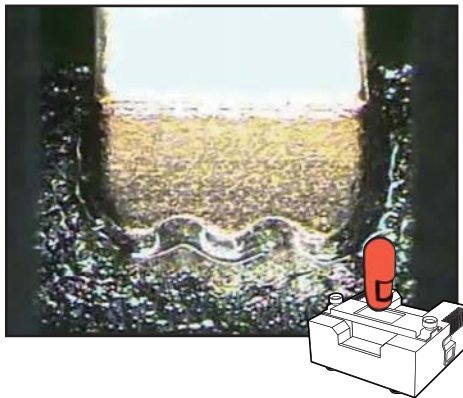


## カメラの位置によって観察できる現象・ワークは様々

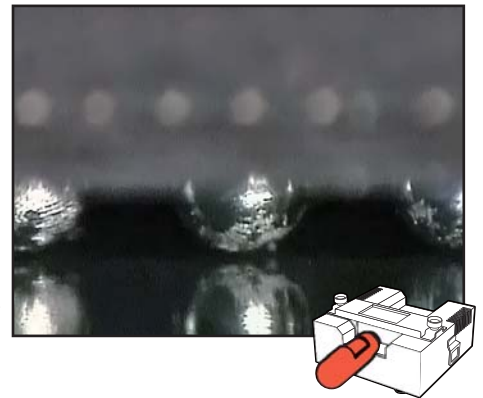
### ハンダのヌレ性



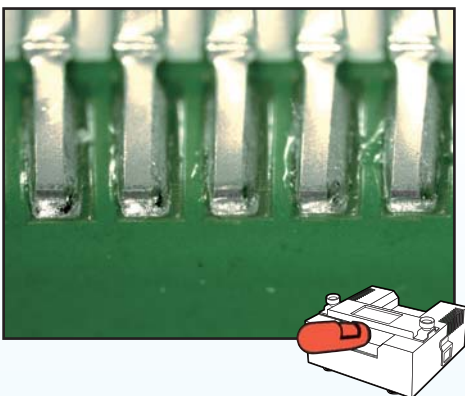
### メッキの変色



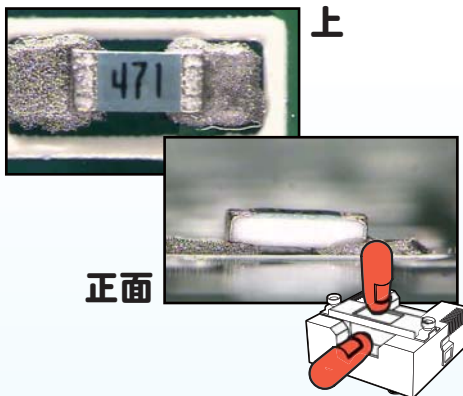
### BGA ボールの観察



### セルフアライメント現象



### 2方向からの観察



### 下方向からの観察

